

# 未踏人材連携コミュニティ 企画案

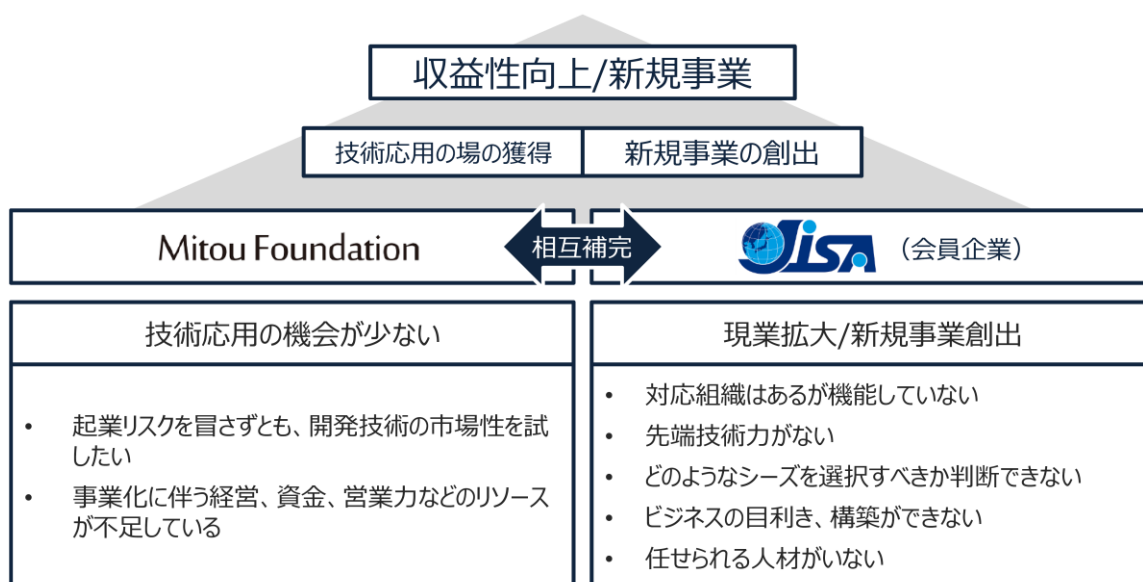
平成 29 年 5 月 16 日

一般社団法人 情報サービス産業協会

## 1. 目的

一般社団法人未踏との連携による、JISA 会員企業の収益性向上および新規事業の創出を目的とする。

## 2. 環境認識



## 3. 活動内容

未踏事業と JISA 企業の新規事業創出における課題解決に資する活動をおこなう。本活動は相互補完関係が成立することを志向する。

【例示：想定議論テーマ】

### ① データベース化によるマッチング

未踏人材の技術をデータベース化、同時に JISA 各社の新規事業に対する方向性もデータベース化する。未踏人材、JISA 各社が相互にデータベースを参照し、それぞれの興味に応じてマッチングできるしくみを構築する。

### ② 社員登用

未踏人材を社員に迎えたい企業は、たとえば、「期限 X 年間、開発資金 XXXX 万円の供与」をコミットし、未踏人材を対象に入社を公募する。

### ③ 純投資

未踏事業の起業をバックアップする。具体的には、起業を希望する未踏人材によるプレゼンをおこない、JISA 会員企業内から出資者を募る。

### ④ 現ソリューションのカイゼン依頼

技術的カイゼンを必要としている JISA 会員企業の既存ソリューションの改善を手掛ける未踏人材を募る。

などを想定。

## 4. 実施体制

座長：島田俊夫 (株)CAC Holdings 取締役会長

※上記活動に賛同する会員企業を募る。

## 5. 事務局

企画調査部 大原 道雄

## 参 考

### 【一般社団法人 未踏とは】

独立行政法人情報処理推進機構（以下 IPA）の事業である未踏事業の OB/OG を中心に、創造的人材を多角的に支援し、業界横断的なネットワークをつくることで、IT を中心としたイノベーションを加速することを目的に設立された法人。

### 【未踏事業とは】

IT を駆使してイノベーションを創出することのできる独創的なアイデアと技術を有するとともに、これらを活用する優れた能力を持つ、突出した若い人材を発掘・育成する事業。IPA において、2000 年度から「未踏ソフトウェア創造事業」として開始し、2008 年度より若い人材の発掘・育成に重点化すべく再編した「未踏 IT 人材発掘・育成事業」として実施している。